

事務事業名		大船渡魚市場整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目				
	施策名	011 地域活力を担う水産業の振興				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	015 水産加工・流通機能の強化				12	01	01	01	01
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 11 年度～ 28 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所 属	部課名	農林水産部水産課				A 政策事業	B 施設整備			
	課長名	課長 鈴木満広				C 施設管理	D 補助金等		E 一般(A～D以外)	
	係名	漁政係	電話	27-3111						
	担当者	金野道程	内線	372						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
老朽化した大船渡魚市場を高度な衛生管理に対応した施設として整備する。また、魚市場施設内に市民や観光客向けの活性化施設(展示施設、飲食施設等)を併設し、地域活性化に資する。 県事業として埋め立て工事を行った旧魚市場北側の公有水面約2haの埋立地に、第1期工事として平成20年度から平成25年度に、県と市の共同工事により、人工地盤と魚市場施設を整備した。平成26年度には旧魚市場を解体し、その跡地に第2期工事として魚市場別棟の荷捌所を整備して平成27年度完了。 平成16年度 魚市場施設の基本設計業務委託 平成17年度 展示施設の基本設計業務委託 平成18年度～19年度 実施設計業務(魚市場施設及び展示施設)委託 平成20年度～22年度 建設工事 平成23年3月11日 被災により工事中止 平成24年6月26日 工事中止解除 平成26年3月20日 第1期工事完了 平成26年4月 第1期開場 平成28年2月 第2期開場 事業費は、設計委託、工事請負費等に支出。				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 2,605,233 都道府県支出金 2,525,000 地方債 3,295,900 その他 0 一般財源 215,794 事業費計(A) 8,641,927 人件費 正規職員従事人数 4 延べ業務時間 30,000 人件費計(B) 120,000 トータルコスト(A)+(B) 8,761,927						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
タイヤ洗浄槽施工。		単位	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ア 設計協議の回数	
なし。(平成28年度で大船渡魚市場整備事業完了)		回	
		イ 工事日数	
		日	
		ウ 魚市場整備の進捗率(事業費ベース)	
		%	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・大船渡市魚市場 ・漁業者、買受人、市場職員 ・一般市民、観光客		名称	
		単位	
		カ 大船渡魚市場の面積(整備前)	
		㎡	
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・高度な衛生管理に対応した施設になる。 ・新たな活性化施設になる。		名称	
		単位	
		サ 大船渡魚市場の面積(整備後)	
		㎡	
		シ 衛生管理市場認定件数	
		件	
		ス 活性化施設面積	
		㎡	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・大船渡市魚市場に水揚げされる水産物が安定して高く売れる。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度							
				27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	436,223	1,270	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	272,300	1,200	0	0	0	0		
		その他	千円	2,264	71	0	0	0	0		
		一般財源	千円	0	0	0	0	0	0		
	事業費計(A)		千円	710,787	2,541	0	0	0	0		
	人件費	正規職員従事人数	人	2	1	0	0	0	0		
		延べ業務時間	時間	2,500	100	0	0	0	0		
		人件費計(B)	千円	10,000	400	0	0	0	0		
		トータルコスト(A)+(B)		千円	720,787	2,941	0	0	0	0	
⑤ 活動指標		ア	回	60	5	0	0	0	0		
		イ	日	350	90	0	0	0	0		
		ウ	%	99	100	0	0	0	0		
⑥ 対象指標		カ	㎡	9229	9229	0	0	0	0		
		キ									
		ク									
⑦ 成果指標		サ	㎡	18886.25	18886.25	0	0	0	0		
		シ	件	1	1	0	0	0	0		
		ス	㎡	1235	1235	0	0	0	0		

事務事業ID	0584	事務事業名	大船渡魚市場整備事業
--------	------	-------	------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	老朽化した大船渡魚市場を整備するため、平成11年度に整備構想検討委員会を設置して、整備構想・計画づくりに着手した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	魚市場の老朽化が進んでいる。また、産地市場における衛生管理や鮮度管理は、一層の充実が求められている。 東日本大震災により建設中の新魚市場施設が被災し、手戻り復旧工事が必要となったが、手戻り復旧工事費を増額して平成24年6月より工事を再開し、平成26年3月20日第1期工事が完了した。平成26年度から第2期工事としてサンマやイサダ専用の荷捌き所の整備に着手し、平成27年度に完成した。平成28年度にタイヤ洗浄槽を整備し、全事業完了。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 新魚市場は水産業振興の中核となる施設であり、水揚岸壁及び荷捌施設の拡充は取り扱い可能な水産物の増加を目指すことができる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市が設置する公の施設であるため。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 公共施設の整備であり、対象・意図とも適正である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 整備後面積は設計段階で決定しており、震災による遅れはあったが、予定通りの完成となった。整備面積は決定しているため、特に向上の余地はない。 成果指標の2点目である衛生管理市場の認定については、卸売業者との協議及び共同の取り組みにより、衛生管理体制を向上、確定させた後、認定機関からの認定を受けるものであり、こちらも特に向上の余地は無い。平成28年4月に認定済。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 整備途中の公共施設整備であり、現施設の老朽化の問題からも廃止・休止はできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 設計基準に基づき積算された事業費であり、大幅な事業費削減の余地は無い。 なお、震災の影響に伴い、事業内容の見直し等が必要な部分については、可能な限り国の支援制度を活用した。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 早期完成を目指して取り組み、人件費削減の余地はない状況であった。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市の社会資本整備であり、公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																	
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																	
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持			×	低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上維持			×														
	低下		×	×														
平成28年度にタイヤ洗浄槽を整備し、全事業完了した。																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	